

新型コロナウイルス「COVID-19」対策ガイドライン

ジュニアスカッシュチームクールス

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に努め、ホームページにて注意喚起を行うとともに、練習の開催、対抗戦、イベント等について、以下のとおり対策ガイドラインを定める。

- 【目的】 子供たち、スタッフ、保護者が安全で安心でき、全員が理解してサークル活動を行う為。
- 【方針】 クールスメンバーならびに関係者の安全確保に細心の注意をはらい運営に万全を尽くし、サークル内から感染者を出さない。
- 【対策】 最新情報や留意事項を随時確認し、以下（コロナウイルス感染対策）を徹底させ、状況に応じて遅滞なく対応する。

《1、参加にあたり》

1-1	朝、コーチ、参加者、保護者ならびに関係者は、体温を測定し健康チェックを行い発熱や風邪症状がある場合は参加を控える。
1-2	タオルや飲み物は各自持参し、共有しない。また熱中症予防策も各自で用意する。（クールスでの塩分タブレットの用意は一時中止）
1-3	来場の際は、再度検温、手指の消毒をして入館する。
1-4	参加者、コーチと関係者は、こまめな手洗いと消毒、咳エチケットマスクの着用などの理解と協力を得る。
1-5	館内では、最小限の「挨拶」や「返事」と「必要会話」以外は、原則禁止。
1-6	参加者の出欠状況を事前に把握して対応に備える。
1-7	練習中に体調が悪くなった場合、直ちに帰宅させ自宅待機とする。
1-8	必要最小限の保護者の参加にとどめ実施する。
1-9	参加者ならびに関係者が危機管理対策指導に応じない場合は、練習から退場していただく措置をとることもある。
1-10	来場する以前から健康管理に努め、各自対策を講じておくよう周知し、体調の変化や不調を感じた場合には、状況に応じて参加を控える。

《2、練習開始後》

2-1	“密”にならない準備運動（お互いの距離を取り、私語をしないで行う）
2-2	練習で使用するボールはクールスで用意したボールを使用し、定期的に消毒を行う。
2-3	コーチ陣が直接息をかけない対策。
2-4	コーチはマスクを着用し、練習内容により可能な場合は、フェイスシールドやマウスシールド等も着用する。
2-5	球出しはマスク、シールド等を着用するが、ゲーム形式ではマスク、シールド等は外す。（呼吸困難等の危険を回避するため）
2-6	コート内の人数制限（時間制限）と外での待機者の区分けコート内の人数はコーチ1人、参加者3名の合計4名を上限とし、その際お互いの距離を取り、私語をしないように努める。
2-7	汗は各自のタオルで拭き取り、壁に手や腕を触れない。

2-8	コート外での待機中はなるべく2メートル以上の距離をとりマスクを着用する。
2-9	ゲーム練習での審判はマスクを着用する。
2-10	ゲーム終了時の握手やハイタッチ禁止。（エアやエルボーシェイクに変更する）
2-11	終了時、保護者への「発声挨拶」の禁止。（「礼」のみで行う）
2-12	「練習日記」の提出中止（各自、練習日記に記入し、提出はサークルスクエアを適宜活用する）
2-13	入館中は目や口などに直接手を触れないよう注意し、退館時に必ず消毒を行う。

《3、保護者見学について》保護者の待機場所の“密”防止

3-1	保護者の見学、待機場所については、3つの密を防ぐことを徹底する。
3-2	施設の制約等により、これが困難な場合も対面で座らないようにする。
3-3	万が一感染者が出た時点で、定められた機関へ報告し必要な手段を講ずる。（関係機関・団体へ連絡を行い、二次感染等拡大防止対策を講じる。）
3-4	マスク、消毒液は基本的に持参をお願いするが、念のために会費でも購入しておく

その他

- 練習で使用するコートのドアノブは定期的にアルコール消毒をする。
- 入館時刻は練習開始時間（開始7:45）の25分前（開場7:20）からとし余裕を持って入館する。
（消毒と検温を、余裕を持って行うため）
- 練習開始前はコートを使用しない。
- 退館時刻の厳守（9時30分終了、9時45分には完全退館）
※エスクープメンバーさんや他のサークルと入退出の重なりを防ぐ為
- 新規入会は当面は受け付けない。
- 入会者の受付再開については「新しい生活様式」を習得後、状況を見て再開させる。
- 参加人数制限（参加状況を見てから適正人数の設定を検討）
- 非接触型体温計、マスク、消毒液、フェイスシールド、マウスシールドは、会費より購入する。